

令和7年度基本活動にあたり

「令和6年能登半島地震」から1年が過ぎました。今なお避難生活を余儀なくされている方、被災された方、皆様に心よりお見舞いと哀悼の意を表します。また、今年で阪神・淡路大震災から30年の年を迎えます。私たち一般社団法人全日本動物専門教育協会（SAE）は、震災の経験や教訓を次世代に繋いでいくために、一人でも多くのペット災害危機管理士®を育成し、人もペットも安心、安全に暮らせる防災社会を目指す活動に取り組んでいきます。

さて、動物専門教育を取り巻く環境は刻一刻と変化し、不確実性が増しています。そのため将来を予測することがこれまで以上に難しくなってきており、時代の潮目や潮流を読む力が問われているように思います。人口減少や社会的格差の拡大、動物飼養頭数の激減や大学全入時代下での動物専門学校の定員割れなど、これらはすべて協会経営においてのリスク要因であります。

これまで SAE は、時代の変化と社会からの要請に応えるべく、全国自治体が認める動物取扱責任者要件を満たす公認ライセンスを最たる強みとした SAE 教育プログラムを上手くチューニングし、協会を運営してきました。

しかしながら、このような混沌とした時代では、協会単独で生き残るのはますます困難になります。

そこで 2025 年より一般社団法人全日本動物専門教育協会、株式会社 SAE マーケティングワン、特定非営利活動法人ペット災害危機管理士会、PET EDUCATION SERVICES PTY LTD の 4 社は SAE グループを形成し、グループ会社としての相互補完やシナジー効果を大いに生み出すことで、持続可能な成長を実現してまいりたいと思います。

その上で肝に銘ずるべきことは、「人に向き合う」ということです。SAE グループ会社の事業ポートフォリオはすべて「人」を軸としており、「人の知識・技能を高める」、「人を支える」、「人と人を繋ぐ」の 3 つの事業ドメインとして位置付けられています。

SAE としては、学校、学生、事業者、ペットオーナーズたち仲間を「第一に考える」、「近しい存在である」、「向き合い、知ろうという姿勢を持つ」ことに徹し、そこから課題解決のヒントを得て、付加価値な教育プログラムやサービスの向上をすすめていくことで、仲間とともに人もペットも豊かな社会の実現に向け活動してまいりたいと考えます。

特に今年は昨年から実行している、動物専門学校へのサポートを更に強化、推進するために、世の中の変化に合わせて新しい資格やスキル認定制度を提案していきます。また、行政との連携を強め、ペット災害危機管理士®の人材育成を活かしたペット防災協定の締結をもって、レジリエントでサステナブルな社会を支える協会として活動してまいります。

私たち SAE は、これからも仲間を増やし、知恵と力を結集させ、人も動物も豊かな社会のために進取の精神をもって道なき道を切り拓いていきます。是非、私たちの活動にご賛同いただきたく、そして、変わらぬご愛顧を賜りたく、よろしくお願ひ申し上げます。

一般社団法人 全日本動物専門教育協会
理事長 大野 公嗣